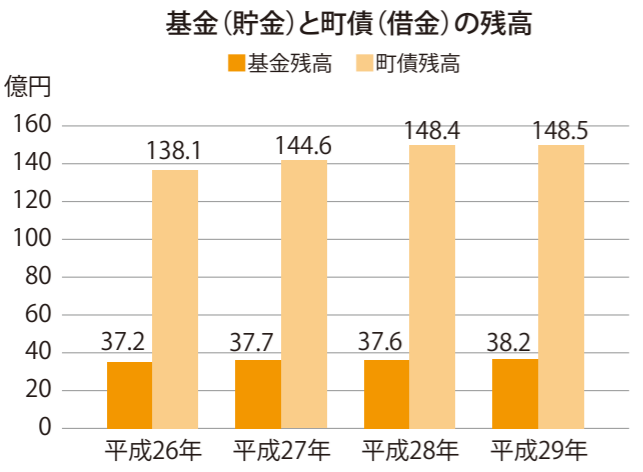


基金(貯金)と町債(借金)の残高

基金は、約38億円で推移しています。平成29年度は、奨学基金や若者女性応援基金、減債基金などに約1億8千万円を積み立てて、ふるさと応援寄附金を活用した事業やふるさとの森運営などのために、約1億2千万円を取り崩しました。

町債は、平成26年度末に138.1億円と町合併後最も少なくなりましたが、平成27年度から増加に転じ、今年度末には約148億円となり、3年連続で増加しました。町は、住宅や道路、水道などを整備するときに、国や金融機関からお金を借りています。(基金・町債残高には、特別会計分を含む)



特別会計

全ての会計で、黒字決算となりました。簡易水道事業では、佐見地区水道敷設工事のほか、杉戸浄水場改修、中央監視装置の整備などを行いました。下水道事業では、浄化槽を新たに10基設置しました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	7億6,162万円	7億3,584万円	2,578万円
後期高齢者医療事業	1億8,716万円	1億8,592万円	124万円
介護保険サービス事業	3,560万円	3,174万円	386万円
簡易水道事業	5億5,755万円	5億5,608万円	147万円
下水道事業	3億8,939万円	3億8,743万円	196万円

病院事業会計

病院事業会計(収益的収支)は、入院患者数の減少などによって収益が減少し、単年度利益はマイナス590万円となりました。病院事業会計(資本的収支)は、電子カルテシステムや各種医療機器の更新、防犯カメラの設置などを行いました。

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
病院事業(収益的収支)	10億873万円	10億1,463万円	-590万円
病院事業(資本的収支)	2億1,390万円	2億7,666万円	-6,276万円

※収益的収支は、病院の経営活動に係るもの(料金収入や人件費、施設維持費、薬品費など)
資本的収支は、施設、医療機器の整備や借入金の返済費用などに係るもの

まちの財政の健康状態を表す指標

実質公債費比率 9.2% (昨年度9.8%)

家計に例えると、年収に対してローンの年間返済額が何割あるかを表しています。

昨年度から0.6%減少し、現時点では健全な状態です。しかし、平成30年度以降は、値が上昇(悪化)していく見込みで、公共施設などの建設には統廃合や複合化など、具体的な判断が必要だと考えます。(この指標が25%以上になると、一部の起債(借金)の借入れが制限されます)

将来負担比率 49.1% (昨年度47.7%)

家計に例えると、生活費や学費、家のローン、子どもへの送り費用など、将来負担しないといけない費用の合計が、年収の何年分あるかを表しています。昨年度から1.4%上昇しましたが、町債残高(借金)が約2,500万円増加したことが原因です。

経常収支比率 93.6% (昨年度92.4%)

人件費や扶助費、借金の返済費用のように毎年度決まって支払われる経費が、税金や普通交付税などの使い道が限定されない毎年度経常的に収入されるお金のどのくらいを占めているかを表しています。

比率が100%に近くなると、自由に使えるお金が少なくなり、財政にゆとりがなくなります。公共施設の維持修繕、扶助費の増加などによって、数値が悪化しました。

町民1人当たりまたは1世帯当たりで見ると

人口 4,940人
世帯 2,041世帯
[平成30年4月1日現在]

使った費用【一般会計】

75億2,925万円
1人 152万円
1世帯 369万円

負担した税金【一般会計】

4億9,969万円
1人 10万円
1世帯 24万円

借入金残高【一般会計】

97億5,717万円
1人 198万円
1世帯 478万円

借入金残高【全会計】

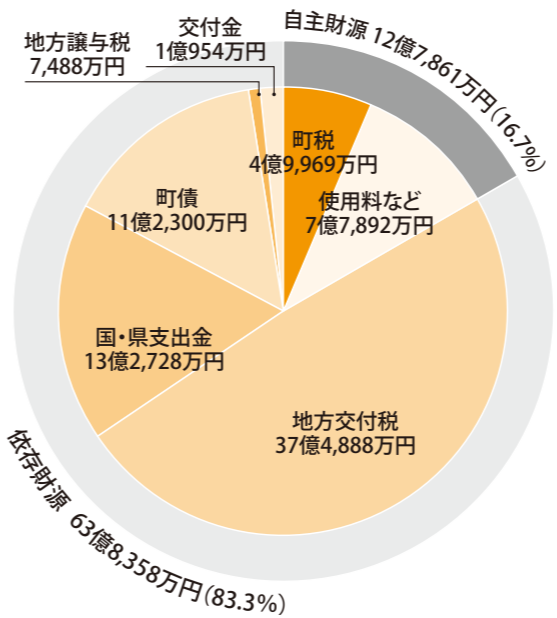
148億4,912万円
1人 301万円
1世帯 728万円

基金残高

38億1,579万円
1人 77万円
1世帯 187万円

平成29年度 まちの決算

歳入【一般会計】
歳入合計 76億6,219万円



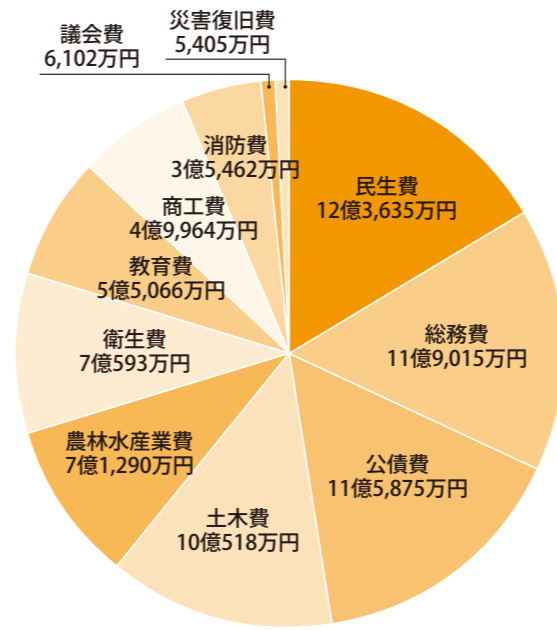
平成29年度の一般会計と特別会計の決算認定を9月議会に提出しました。議会では、決算審査特別委員会(町真一郎委員長他5名)を設置し、12月議会で報告される予定で審査が行われています。平成29年度に町が実施した事業にどのようにお金が使われたかを紹介します。

歳入の状況

自主財源は、昨年度と比較して、町税が約7百万円の減少、ふるさと応援寄附金が約8,500万円増加しました。また、依存財源は、庁舎建設や頼原公民館などの大規模建設事業が終了したことから、町債が約5億円減少しています。

歳入全体で見ると、総額の約49%を地方交付税が占めるなど、収入の8割以上を国・県からの資金で賄っています。地方交付税は町合併による加算分が段階的に縮小しており、今後も歳入に見合った財政運営が必要となっています。

歳出【一般会計】
歳出合計 75億2,925万円



平成29年度に実施した各費目の主な事業(新規事業など)

- 総務費** 定住促進住宅建設(3棟)、デマンドバス整備(2台)、三江線廃止代替バス整備(1台)、人材確保支援センター設置など
- 民生費** 来島保健センター屋根改修、高齢者福祉、障がい者福祉、子ども等医療費助成、保育所運営など
- 土木費** 町道整備、新衣掛団地1号棟整備、道路除雪など
- 農林水産業費** リースハウス団地整備、堆肥センター大規模改修、農業基盤整備、鳥獣被害防止、町行造林事業など
- 教育費** 赤名小学校大規模改修、スクールバス更新(1台)、頼原球場改修、生涯学習センター解体など
- 衛生費** 医療従事者確保対策助成金、各種健診・予防接種事業など
- 商工費** 琴引スキー場人工降雪機整備、酒づくり交流館大規模改修、観光施設管理運営費用など
- 消防費** 消防普通積載車更新(2台)、防災行政無線整備、空き家等対策計画策定など

総務費…選挙、庁舎維持費、公共交通、地域振興などに使われる費用。
公債費…町債(借金)の返済費用。
民生費…保育所や高齢者・障がい者福祉、生活保護などに使われる費用。
衛生費…予防接種や健康診断、ごみ処理、環境の保全などに使われる費用。